

## 第19回催事 秋の懇親バスツアー「益子焼陶器市と笠間神社」

幹事：宮地秀幸

☆実施日 平成30年11月05日(月)

☆コース AM8:00 JR西船橋駅 南口を赤い観光バスで出発。  
京葉道路—今年開通した「外環自動車道」—常磐道—  
北関東自動車道を経由して栃木県益子市「益子焼陶  
器市」へ。

AM12:30 益子を出発、「かさま菊まつり」開催中の笠間  
稲荷神社へ。那珂湊漁港—かねふくめんたいパークに  
立ち寄り、往路と同じルートでJR西船橋駅 南口へ18:00帰着。



☆参加者 15名(敬称略)

牧田賢二、川股賢三、白岩仙一、芹川時雄・フサ子ご夫婦、六角学、植野邦夫、小澤敏宣、  
湯浅尋夫、市川宏、野田佑、住田勝治、平木行雄・七重ご夫妻、宮地秀幸

☆実施内容

定刻の7:50には全員15名が集合。

チャーターした(有)武井観光の赤い27人乗り  
中型バスで出発。

バスは後方席がサロン形式になるタイプで、  
出発してすぐに宴会がスタートし、賑やかな

一日の始まりとなりました。新しく開通し、まだ交通量も少ない「東京外環自動車道」を快適に  
走行し、9:00過ぎに常磐道：千代田パーキングへ到着し、最初のトイレ休憩。



「益子焼陶器市」は昭和41年から始まり、春と  
秋に開催され、今回は第102回目。

11/2(金)から11/5(月)までの5日間の  
会期で、最終日は少しすいているのでは？と  
この日を選んだのですが、10:30の到着時刻  
には駐車場はほぼ一杯。

前日の天気予報では「曇り」でしたが、益子に  
到着する頃には「秋晴れ」の好天気になり、  
解散・集合場所とした「益子焼共販センター」  
前にある益子焼のシンボルの大きな狸の焼き  
物の前で記念撮影。

50の店舗と500のテントの大半が集まる陶器市のメインストリートである、東西約500mの「城内坂通り」をそれぞれ自由に散策。

コーヒーカップや湯飲み・ぐい飲みなどを、皆さん思い思いにお土産を選んでいました。

昼食は各自で自由にとっていましたが、多くの人が城内坂通りの中ほどにある「手打ちそばうえの」で、ざる蕎麦(730円)や野菜天ぷらそばを注文していました。



12:30に陶器市を後にする頃には、広い駐車場の入口に入場待ちの長い車の列ができていました。

日本三大稲荷に数えられる茨城県笠間市の「笠間稲荷神社」は、第36代孝徳天皇の御代、白雉2年(651)創建と伝えられ、全国から年間350万余の人々が参拝に訪れています。

門前通り商店街に面する「一の鳥居」で集合写真を撮るも、カメラマンの平木支部長だけが写っていません。

本殿拝殿後は折から開催されていた「かさま菊まつり」を見学、当菊まつりは、神社の先々代宮司が「大地に親しむこと」と「菊花は人の心を和める」との思いから、明治41年に菊花を境内に展示したのが始まりで、今年で第111回、日本で最も古い菊の祭典と言われています。



素晴らしい菊を無料で鑑賞した後は一の鳥居前にあり御神酒「二波山松緑」を笠間藩直営の酒蔵時代より造り続けている「笹目宗兵衛商店」で美味しいお酒を試飲させて頂きました

笠間稲荷神社を後にして次の訪問地「那珂湊漁港」に向かいました。当初は「大洗漁港」を訪れる予定でしたが、地元の茨城寿会支部の西郷支部長より事前に助言を頂き那珂湊へ変更。当日も漁港で西郷支部長に出迎えて頂き、バスの中でも一言ご挨拶して頂きました。



最後はかねふくが全国で展開する「めんたいパーク大洗」を訪問。

試食の辛子明太子がよほど美味しかったのか、多くの人がお土産の辛子明太子を購入していました。



帰りは、三郷ジャンクション前で事故渋滞に嵌り

ましたが、30分程の遅れですみ、ほぼ予定通り18:00にJR西船橋駅に、全員元気に帰着しました。